

法学部のカリキュラムについて

● 学期・授業時間について詳しく教えてください。

岡山大学の昼間コースは4学期制で授業は1コマ50分です。具体的な学年暦は年度によって異なりますが、おおよそ4月～6月上旬が第1学期、6月上旬～8月上旬が第2学期、10月～12月上旬が第3学期、12月上旬～2月上旬が第4学期にあたります。夜間主コースは2学期制で授業は1コマ90分です。4月～8月上旬が前期、10月～2月上旬が後期になります。2023年度の学年暦・授業時限はこちらのページをご覧ください。

(https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/kyomu1_2_1.html)

● 2回生でコース選択、3・4年のゼミを選択することでしたが、コースやゼミの選択をする時、どのようなサポートがありますか？

コースやゼミの選択においては、事前に教務や教員から各コースやゼミについての説明会を開催します。公共法政コース、企業法務コース、法律専門職コースの中の選択においては、所属するコースはもちろん、コース以外の授業も受講できます。また、3・4年生のゼミ(演習II)は法学部の教員全員(病気・出産・育児・介護休業中の者や在外研究中の者を除く)が1つずつ担当しますので、教員の数だけあります。各教員の専門分野はこちらのページでご確認ください。
(http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/faculty/introduce_lecturer/index.html)

● インターンシップについて法学部が行っている支援はありますか。

インターンシップとは、在学中に一定期間、民間企業や官公庁その他自身の専攻に関連する機関で行う就業体験のことです。法学部独自の受け入れ先として、法律事務所などがあります。法学部では一定のインターンシップを正規の授業科目として扱い単位認定を行っています。

● 夜間主コースについて詳しく教えてください。昼間コースとの違い、特長、留学はできるのか、他の学部の授業を受けることは可能かといったことが知りたいです。

夜間主コースは2学期制を採用しています。授業は1コマ90分で、9限(18:00～19:30)および10限(19:40～21:10)に開講されます。昼間コースのような3年次でのコース選択はありません。

修業年限は昼間コースと同じく4年ですが、夜間主コースでは働きながら学ぶ学生の利便性を重視して、柔軟かつ幅広い学びの選択肢を提供しています。例えば、職業上の理由などがある学生を対象に、4年分の授業料で5年間在籍できる長期履修制度が設けられています。そのほか法学部夜間主コースの学生は、経済学部夜間主コースの科目や法学部昼間コースの専門科目を履修して、卒業所要単位に含めることができます。在学中に留学を経験する学生もいます。

学生生活について(クラブ・サークル活動、アルバイト、ひとり暮らし)

● 一人暮らしをする場合、通学や買い物で不便なことはありますか。また、利用できる学内の施設があれば教えてください。

大学の前にバス停があるので交通の便はよいです。多くの学生が住んでいるエリアはいずれも自転車があれば買い物に困ることもありません。食事には津島キャンパスにある3つの食堂を利用することもできます。また、大学の近くに女子学生寮があります。女子学生寮についてはこちらのページをご覧ください。

(https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/seikatu_d3.html)

● **法学部に入って、物事に対する観点が変わったことはありますか。**

携帯の契約などで約款を目にするとお思います、そういったところに目を向けるようになりました。そこに目を向けることで対処法や騙されることが減るかとお思います。また、論理的な思考をするようになりました。話す際や文章書くときに相手に説得しやすくなったとお思います(在学生からの回答)。

留学について

● **交換留学生になるための条件や選抜方法を教えてください。**

岡山大学には、短期留学プログラム(EPOK)という交換留学制度があります。EPOKで派遣された学生は、派遣先大学の授業料を支払う必要がありません。EPOKにより留学可能な大学は現在58大学あります。

応募資格としては、成績(GPAが2.0以上)や語学能力(IELTSとTOEFLというテストの点数)などが必要です。詳しくは、こちらをご覧ください。

(<https://intl.okayama-u.ac.jp/outbound/studyabroad/sa/epok/>)

● **留学先で履修する授業の単位も認定されますか、また、留学の費用のサポートなどはありますか。**

留学先で履修する授業は基本自由ですが、単位互換制度(留学先の単位を岡大の単位として認めてもらうこと)があります。単位認定を希望する場合は、単位互換される自分の専攻の授業を履修してください。

また、海外奨学金についても、岡山大学の奨学金を含め、関連情報の提供など様々なサポートを行っています。岡山大学の奨学金については、こちらをご覧ください。

(<https://intl.okayama-u.ac.jp/outbound/scholarships/okadai/>)

卒業後の進路・就職について

● **公務員試験の勉強について大学で行っている支援はありますか。公務員試験の勉強と授業・サークル活動との両立ができるかどうか気になります。**

岡山大学では高大接続・学生支援センター主催の「岡大生のための公務員試験対策講座」が毎年開講されており、その実績の高さから公務員志望の学生の多くが受講しています。

講座は授業時限後の時間帯に行われるので、学部の授業を受けられなくなる心配はありません。講座の録画をオンデマンドで視聴することもできるので、きちんと計画を立てればバイトやサークル活動との両立も可能です。

法曹プログラムについて

- 行政書士や司法書士を目指している場合でも法曹プログラムに入るべきでしょうか。また、法曹プログラムに入った後に進路に変えることはできますか。

法曹プログラムは法科大学院への進学を希望する学生を対象とし司法試験合格を目指すプログラムなので、法科大学院への進学を希望していない場合は法曹プログラムに入る必要はありません。すべての法学部生が3年次に公共法政コース・企業法務コース・法律専門職コースのいずれかに所属する必要があるところ、法曹プログラムは法律専門職コース内の特別なプログラムにあたります(そのため、法曹プログラム生は法律専門職コースを選択する必要があります)。なお、途中でコースを変更することは可能です。

- 法曹プログラムを選択するための条件はありますか。

1年生終了時までには法学部の卒業資格単位数を32単位修得していれば、法曹プログラムに応募することができます。ただし、法曹プログラムの履修希望者数および法曹プログラムの受入可能人数は年度によって異なるので、応募者数が受入可能人数を上回ったときには、成績等を参考にして選抜が行われます。

岡大法学部の受験について

- 一般選抜と総合型選抜を併願することはできますか。

できます。

- 国際バカロレア選抜でご入学された学生は、どのくらいいらっしゃいますか。

国際バカロレア選抜には毎年志願者と合格者がいます。現在、2023年度入学者が二人、2022年度入学者が一人在学しています。